

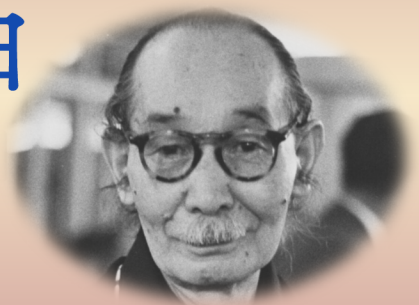
母恋ふる

長谷川伸『ある市井の徒』より

三歳で母親に生き別れ、父親の放蕩で家業が没落。数々の辛酸をなめた末に作家になった長谷川伸は、一途に母を恋ひ慕いながら言葉を紡ぎつづけました。社会からはじき出された男と世間の片隅でひっそりと生きる女が出会い、ほんのひととき触れあってまた別れてゆく――。大正から昭和にかけて多くの人に愛された彼の作品は細やかな人情に彩られ、舞台に掛けられることが少なくなった今でも色あせることはありません。『一本刀土俵入り』『醜の母』と自伝『ある市井の徒』から、切なくも愛おしい長谷川伸の世界を語らせていただきます。

長谷川伸

1884年、横浜市に生まれる。父は土木請負業、母は夫の暴力と放蕩が原因で、伸が3歳の時に家を出る。家が破産して一家離散となり、貧困のために小学校にも通えず、横浜の波戸場小僧として働きながら、港に落ちている新聞のフリガナを読んで漢字を覚えた。品川の遊郭の出前持ちや大工の見習いなど様々な職業を経験し、20歳で新聞記者になる。その後、小説家・劇作家として活躍し、『醜の母』『一本刀土俵入り』などの股旅物の戯曲など、数多くの名作を残している。大衆文芸や演劇の向上を目的とした活動や、後進の指導にも尽力し、最も影響を受けた弟子のひとりが池波正太郎である。



五大路子

桐朋学園に学び、早稲田小劇場から新国劇へ。NHK朝ドラ「いちばん星」でデビュー。以降、舞台TV多数出演。1996年から舞台「横浜ローザ」を演じ続け30年目となる。2015年NYで上演し、NYタイムズに劇評が掲載される。1999年『横浜夢座』旗揚げし、神奈川・横浜から演劇を発信し続けている。昨年は五大路子舞台生活50周年の記念の年を迎えた。

現在、横浜が舞台の朗読劇「真昼の夕焼けを」小中高校生に向けて朗読公演を行っている。

これまでに横浜文化奨励賞、松尾芸能賞、長谷川伸賞、横浜文化賞、神奈川文化賞を受賞。2021年には地域文化功労者表彰を受賞する。映画「DEATH NOTE」「ヨコハマメリー」。著書に「-Rosa- 横浜ローザ、25年目の手紙」がある。



後藤泰観

バイオリニスト・音楽制作・編曲

1989年7月20日、埼玉県出身。3歳からバイオリンを始める。大谷康子氏、嶋田慶子氏に師事。15歳で旧ジャニーズ事務所に入所。エンターテインメントや音楽を多方面から学び、ソリストとしてテレビ、コンサート、ショー、演劇、朗読劇など多種多様な現場で活躍。2017年に退所し更に活動の場を広げる。他にも映像、舞台の音楽制作やアレンジを担当。即興を得意とし、ステージ上を縦横無尽に踊り動き回りながらの演奏するスタイル、ジャンルに捉われない柔軟さ、対応力、確かな技術力が定評を得ている。横浜夢座では五大ととの朗読、リーディングにて楽曲提供・演奏を行っている。「奇跡の歌姫 渡辺はま子」「まぼろしの篠原城」「ピーターラビット」などがある。

【舞台】「滝沢歌舞伎」「DREAM BOYS」 南野洋子さんコンサート、甲斐田ゆきさんライブ、黒木瞳さんディナーショーなど他多数出演。



脚本：あべゆかり

演出：高橋和久

照明：石井高彦

音響：杉浦稔之

照明助手：成田梨音

制作：由愛典子

制作助手：村松裕子

主催：一般社団法人横浜夢座

協力：ボランティアローザ

【チケットのお申込み】

○横浜市岩間市民プラザ 045-337-0011 ※発売初日（1/10）のみ10:00～21:00

3階受付カウンターで購入、または電話予約後引き取り（9:00～21:00休館日を除く）

○横浜夢座事務局 070-4323-0273（平日11:00～17:00）

■横浜市岩間市民プラザ

〒240-0004神奈川県横浜市保土ケ谷区岩間町1-7-15

TEL 045-337-0011 <https://iwamaplaza.jp/>

開館時間：9:00～22:00（受付業務は21:00まで）

※休館日 1/19、2/2、2/16、3/2、3/16

【アクセス】

相鉄線「天王町」駅 東口徒歩2分

JR横須賀線「保土ケ谷」駅 西口徒歩10分

バス 「天王町駅前」徒歩1分



※一階の方の駐車場はありませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

yokohama yumeza
横浜夢座

